



ゼロから創る奈良

奈良市長

2018.4.30 Vol.84

仲川げん ニュースレター

書：紫舟

44
NARA 2021

TOPIC

殺処分ゼロの先へ

～優良ペットショップ認定制度を開始します～

犬猫の殺処分ゼロ公約の実現に向け、奈良市では6月から新たな制度に取り組みます。既に殺処分数は、私の就任前に年間663頭(平成20年)だったものが昨年度は3頭にまで減少。これは生まれたばかりの幼齢猫を預かるボランティアや、積極的に譲渡先を見つける愛護団体の協力があったの実績です。市としても本年1月には初めて譲渡会を開催するなど、着実に進展してきています。過去には移動式の処分施設が全国から非難を受けたこともありましたが、今となっては隔世の感があります。

一方で無責任な飼い主や販売店が存在する限り、この問題の根本的な解決にはなりません。今回新たに取り組む制度は、飼い主に対してまず譲渡会を勧めると共に、ペットショップで購入する場合にも「終生飼育する」という誓約書を顧客に求めるなど、一定の基準を満たした店を「協力店」に認定するもの。またどうしても飼い続けることができない事情が生じた

場合でも、安易に保健所が引き取るのではなく、責任を持って次の飼い主を探すよう指導することをうたっています。

中にはペットショップでの生体展示販売そのものを禁止すべき、との意見もありますが、今の日本の法律では販売業自体を禁止する事は出来ませんので、まずは地方自治体の取り組める範囲で頑張っていきたいと考えています。なおこの「犬猫パートナーシップ店制度」は同世代の首長でもある福岡市の高島宗一郎市長と連携して取り組んでいます。奈良はその昔、聖武天皇が「動植ことごとく栄えんことを欲す」という理想を掲げられた街でもあります。現在は全国で2市のみですが、今後他の自治体にも輪を広げていきたいと思ひます。



市政の動きやmanifestoの進捗状況など、最新情報はTwitter、ブログにて更新中!



@nakagawagen



仲川 げん

Profile

1976年奈良県生まれ。北大和(現奈良北)高校を経て、立命館大学卒業。2009年7月の初当選以来、市民目線で様々な市政改革に取り組む。昨年5月まで中核市市長会の会長も務め、地方の声を政府に届けてきた。

3人の子どもと妻、18歳の猫の6人家族。

2011年「日本を立て直す100人」(AERA)に選ばれる。現在三期目。

活動報告 [18年1~4月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

1月12日(金) 木津川市と連携協定を締結



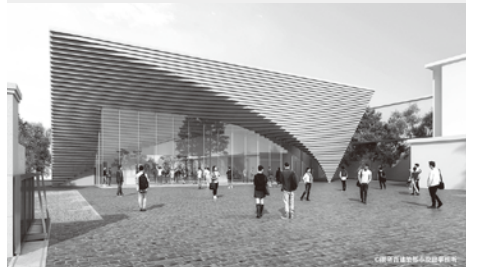
生活圏域の重なる木津川市と行政レベルでも連携を強化していこうと協定を締結。今後、北部図書館の共同利用や合同の防災対策、高の原駅周辺整備など幅広く連携していきます。

1月25日(木) 市役所でフードドライブを実施



各家庭で余っている食品を持ち寄り、生活困窮家庭や子ども食堂に届けようと職員の発案で実施。2日間で未開封の食品など465点が集まりました。今後も定期的に行う予定です。

2月7日(水) 一条高校の新講堂プラン発表



老朽化で耐震性の無い市立一条高校の講堂。よのなか科のゲストで参加した世界的建築家の隈研吾さんに生徒が直談判して協力が得られる事に。1億円を目指して寄附も募集中!

2月15日(木) 国交省へ度重なる陳情へ



大和西大寺駅の「開かずの踏切」解消など、これまで遅れていた都市基盤整備を進めるためには国や県との連携が不可欠。限られた財源を奪い合う自治体間競争の時代でもあります。

3月29日(木) シェアサイクル事業がスタート



世界最大のシェアサイクル「モバイク」と関西の自治体で初めてタッグを組みサービスを開始。スマホで簡単に開錠や支払いが可能で、マイカーによる渋滞対策の効果も期待できます。

4月9日(月) 学研都市にiPS細胞の研究拠点



理化学研究所がiPS細胞の研究拠点をけいはんな学研都市に開所。山中伸弥教授とも連携し、難病患者の治療に役立つ研究に取り組みます。世界が注目するエリアになりそうです。

特別職の退職金問題

これまで私は退職手当については二期連続で不支給、つまり0円とする方針を貫いてきました。これは就任当時の制度が、一期4年ごとに約3,450万円を支払うという市民感覚からかけ離れたものであったことから、自ら範を示す意味で取り組んできたものです。途中で支給額の設定を見直しましたので今の奈良市の条例上は約2,716万円となっていますが、特別に「支給しない事にする」という条例(不支給条例)を任期ごとに定め、全額返上してきました。

この公約についてはこれまでも賛否両論のご意見を頂いており、特に議会からは不支給条例を提出するたびに「金額の大小は議論の余地があれども、退職金制度を全否定するような考え方は如何なものか」、また「副市長など他の特別職は別にしてはど

うか」など様々な意見がありました。そのような経緯を踏まえ、三期目に当たっては外部有識者で構成する審議会であり方を議論して頂く事になり、最終的に「現行制度を約4割カットした額の支給が適当である」との答申が出された次第です。

これを受け3月議会には、市長分はさらに踏み込み5割カット、他の特別職については答申通り4割カットするという議案を提出。これが実現すれば市長は約1,358万円(中核市最下位)、副市長は約935万円(同47位)となる見込みでした。しかし議会での審議の結果、減額する条例案は否決されました。この問題については改めて議論を深め、市民の皆さんはもちろん、議決機関である議会の理解も得られる提案を行いたいと考えています。

仲川げん後援会

ボランティア
募集中!

FAX:0742-90-1073

FAX番号を上記の番号に変更しました。
お手数をおかけいたしますが、お控えの番号を
訂正くださいますよう、お願い申し上げます。

市政報告会のご案内

日時:2018年5月26日(土) 10時~11時

場所:奈良商工会議所 中ホール(4階) 奈良市登大路町36-2

事前申込は不要です。
お気軽にお越し下さい。